

ぶんか通り

15

1997年9月1日(季刊)

●発行所:
財団法人 中條文化振興財団
〒760 高松市番町2丁目1番12号
TEL (0878)26-3355 FAX (0878)26-2212



讃岐でたたく太棹三味線は、 津軽三味線は、 日本のエスニックサウンド

その音色の根底にあるのは、私たちの日常の感情や心。喜びや悲しさ、苦しさ、憤り。

人の諸々の感情や心を自由に伸びのびとアドリブで弾くことこそが、津軽三味線の特色であり、生命である。

そうした津軽三味線に魅せられた人がいる。天弘房江さんは、この讃岐の地でその音色をたたき、届ける。音色はたくましく、悲しく激しい。聞く者の魂をゆさぶる津軽で生まれたこの音色が、はるか南の地讃岐に生きる者の胸の奥底にも鳴り響く。

津軽三味線は綺麗な造花であつてはならない。つねに若々しく生命感に満ちた生花でなければならないと言う。

木の香る拠点 完成

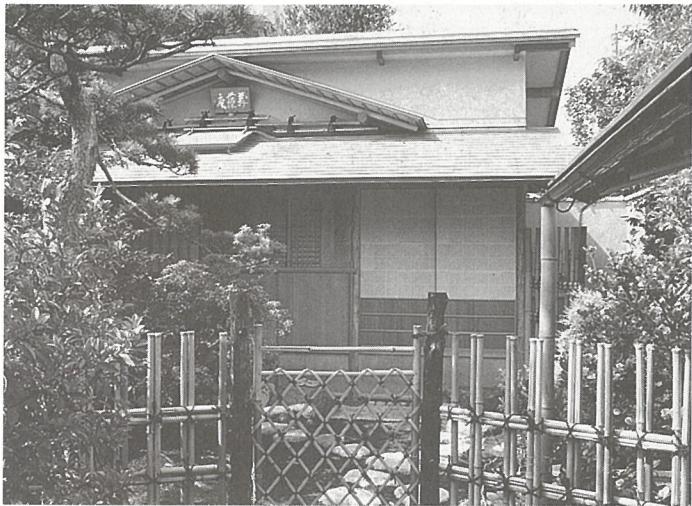
今年の四月に、高松市番町に当財団が拠点となる数寄屋造りの本格的な茶室が完成しました。一階は茶の湯に親しみ、学び、樂しまれる方達にご利用いただくための貸茶室「美藻庵」^{びそうあん}「せいしょうとうい」といふ名前で、二階には事務所と応接間を設けました。様々な文化を樂しまれている方達の交流の場、そして新しい文化の創造の場として活用頂くための空間です。

ある日のこと。茶室を見学にこられたKさん。小間、広間、立札と各部屋をご案内し、最後にご案内したのがお手洗い。何気なく戸を開け、「ここが……」と説明しようとする私の言葉をKさんの強く厳しい口調がさえぎった。「あかん！そんなに無造作に、どこでも手をかけたら

あかん！手の油がシミになつてのかんとうになるんやから。大切にして欲しい。日本人の大切な心と技が、この建物には映されてるんだから」と。また、この間まで入院生活をさせていたというYさんは、「木のぬくもりとやさしさに、体がこんなに喜んでいます」と、目をうるませた。

訪れてくださる方の、こんな思いや声を聞かせていただきます。

そんな器ができました。器は使ってくださる方によつて生命が吹きこまれると聞きます。三百年はもつと言われているこの建物。心ある方達に支えられ、脈々と生命通う「美藻庵」「晴松亭」であり続けたいと、願います。



財団からのお知らせ

財団行事予定

九月十五日(月・祝日)

席主 松野宗美先生(裏千家)

主席 三好綾子先生（武者小路千家官休庵）
濃茶席・薄茶席・点心席をお通り頂きます。
茶会券二千五百円、定員20人（先着順）

文化といく
AND
みゅーじっく
'97

日時　十月十一日（土）午後一時半～四時
場所　高松市美術館講堂
再びフルートの音を通して国による文化の違いを論じ、地域文化のありようを探り、語り合います。

〔対象期間〕 平成9年9月1日～平成10年8月31日
〔年会費〕 三千円

讃岐の宝と言えば、先ず最初に思い出されるのが、善通寺蔵の国宝・一字一仏法華経序品です。

讃岐の宝

紙本著色一字一仏法華經序品

善通寺藏

曼殊沙華而嚴佛上及諸
大衆普佛世界六種震動
亦時會中比丘比丘尼優婆塞優婆夷天龍夜叉乾
闍阿脩羅迦樓羅堅那

中国・唐時代のものを手本として、平安時代に書写されたものと思われます。寺伝では、弘法大師空海が仏像を描き、母の玉依御前^{たまよごぜん}が経文を書写したと伝え、最も大切にされている寺宝の一つであり、また、讃岐の宝でもあります。

高瀬町立図書館館長
坂田 知己

中條財團友の会を結成いたしました。財團設立者中條晴夫氏の一字をいただいて、晴友会と名づけました。

晴友会入会のご案内

一期一会

美藻庵通信 其の一
快気祝の茶会

平成九年七月六日

「病床の目にあらる春の三坪ほど」

床には木村雄子さんの句が色紙で飾られている。この日は長い闘病生活に終止符を打ち、退院した木村さんを囲む茶会。お友達十名ほど集まつて、手作りの料理に舌鼓を打ち、おもてなしのお茶を頂く。

「私はつかりお客様では申し訳ないから」と、楽しそうに自らお運びにまわる木村さん。

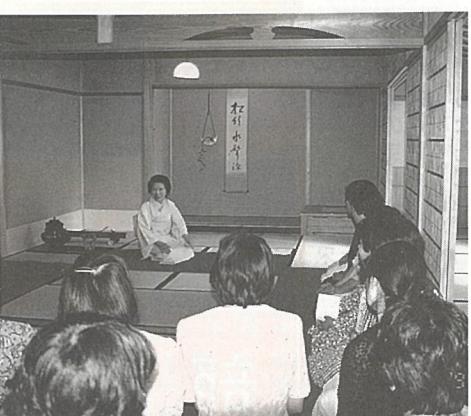
「型破りの茶会」とご本人達は言うが、心通じ合う仲間たちとの、温かくやさしい時間と空間は美藻庵の木の香りと解け合つて、心地よく伝わってきた。木村さん、いつまでも美しく。



楽しそうに接客側にまわる木村さん

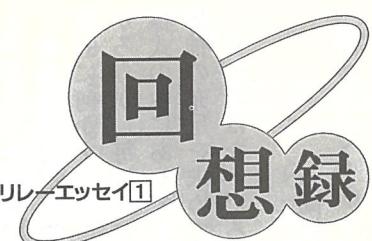
美藻庵通信 其の二
寺族婦人研修会

平成九年七月三十一日



三好先生のお話を熱心に聴く香川西組寺族婦人会の皆さん

お寺の奥様方は、毎日とにかく忙しい。大勢のお客様をもてなす機会も多い。茶室がありながら十分生かしきれてないお寺も結構多いとか。香川西組寺族婦人会は、三好綾子先生を講師としてお招きし『もてなしの心、もてなしを受ける心得』をテーマに研修会を行つた。内容は、床飾りと茶花の生け方・点心の運び出し、さげ方・薄茶の客作法など。「茶の湯の“がたち”に宿る心遣いを感じ清々しい緊張感でした。』と参加者の声。床にはお寺にちなんだ茶花「数珠玉」が、三好先生のこの日のための心遣いを伝えていた。



松本 恭輔
PROFILE

大正15年9月21日生。
昭和27年京都大学法学部卒業後百十四銀行入行。平成元年同行の代表取締役頭取に就任。平成7年より会長となる。また、香川県観光協会会长、高松商工会議所会頭など、数々の公職を歴任。趣味は音楽鑑賞・ゴルフ。



故中條晴夫氏が私財を投じて設立された(財)中條文化振興財團も本年10月1日をもちまして発足以来満4年を迎えられること、心からお慶び申しあげます。

氏は昭和初期の世界恐慌の時代に当行に入行され、昭和20年10月に取締役に就任、昭和50年12月には頭取に就任されたのち、会長、相談役を歴任された訳ですが、特に戦後の経済復興期、その後の高度成長期に至る効率至上の価値観が重視される時代にあって、常に「文化が社会生活の基本」という信念のもと、心にゆとりを持ち、人間らしい生活ができる地域社会創りを目指して活動を続けてこられました。

昭和53年高松市文化協会が発足したときに

は、請われて会長に就任され、更に、香川大学学術振興財團理事長、高松市美術館美術品等調査委員会委員長、菊池寛顕彰会会長等の役職を務められたなど広範囲にわたって地域の文化振興のために尽力されました。

「足るを知る」を生活の信条とされ、その清廉にして篤実なお人柄と、そして郷土の文化の発展に注がれる並々ならぬ熱意は私どもに大きな教訓を示されました。

平成5年には文化意識の啓発事業、文化活動の奨励事業等を目的に自ら当財團を設立され、地域文化の発展に寄与した個人及び団体には奨励金、将来性のある団体等には助成金を交付されています。

そして、本年4月には念願の茶室(美藻庵・晴松亭)と財團の事務所が高松市の中心部に完成し、京都から家元をお招きして茶室披きをし、地元の大きな反響を呼びました。この建物は茶事以外にも多目的に一般の方々に利用頂けるようになつていて、どうかがつていています。

かつてご出張の折には、多忙な中寸暇を惜しんで各地の有名な茶室に足を運んでおられましたが、今にして思えば、その当時から是非地元高松にも立派な茶室を造りたいとのお気持を持つておられたものと思われます。氏はこの完成を見ることなく、平成7年5月17日に亡くなられましたがお元気であればどんなにお喜びになられたかと思うと残念でなりません。

氏はこの完成を見ることなく、平成7年5月17日に亡くなられましたがお元気であればどんなにお喜びになられたかと思うと残念でなりません。

地域社会も新しい価値観のもと、人間重視と環境保全の大きな転換点にさしかかっています。

今後は当財團が、文化に深い関心を持たれた故人の遺志に沿い、地域文化の啓発等の拠点としてその役割を果たされることを期待しています。

(株式会社 百十四銀行会長)

浪	漫
俱	樂
部	1

檀那寺に山水の庭を作り、掘立小屋同然に住み庭もない身には、ときたま寺に詣り水の流れる庭を見て、共有の楽しみを味わう風流心を生活は苦しくとも持ち合わせていた。

そんなしがらみを解き放される日があった。

「まつり」一人一人にそれぞれの思い出があり、思いがある。

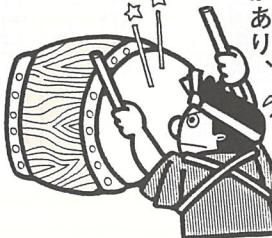
さて、あなたにとつての祭とは？

週末ごとに台風が襲来するような不順な天候つづきであつたのに、今年の夏はとりわけ蝉の鳴き声をよく聞いた。「喧騒」だと、あの鳴き声を嫌つた人もいたが、この環境の悪い地球の地中に七年も八年も命を温めて、漸く地上に旬日の生を享け、その短い瞬間ともいえそうなく日々を懸命に鳴きつづける姿は、儂なくもあり逞しいとも思えた。

昔の庶民の生活は、苦しく苛酷とさえ思えるものであった。

そんな運命をさえ、多くの庶民は懸命に生きた。一様に貧しく、農民の多くは米を作つても手元に残るのは極僅か、米の飯を食するのは年に何日かであつた。衣もまた、粗末であつた。

楽しくて寂しきもの



『まつり』一人一人に
それぞれの思い出があり、
思いがある。

さて、あなたに
とつての祭とは？

檀那寺に山水の庭を作り、掘立小屋同然に住み庭もない身には、ときたま寺に詣り水の流れる庭を見て、共有の楽しみを味わう風流心を生活は苦しくとも持ち合わせていた。

そんなしがらみを解き放される日があった。

誰に遠慮もなく腹いっぱい飯や普段食べ慣れないものも食べ、飲んだ。

それが、祭りの日でありハレの日であった。

素直に敬虔な気持で神に祈り、その恵みに感謝し、あるいはそのみ魂を招き鎮めようとする祭りの場を借りて、日頃の労苦に報い、自らの明日への生きる勇気を与える場であつたのかもしれない。

そのため若者を中心として老も幼も、男女の区別なく早い時期から祭りのための準備をした。それは地域全体の責任であつた。

その間は、人々にとつては生き生きとあつた。豊饒の現代、かつての人々のように物質的に何かを充足しようというのではなく、かろうが『毎日がお祭り』みたいな生活様式の中につつても、失つたといわれる精神的充足を求めて、祭りは続けられていいくのではないだろうか。

それは、心踊るものでした。だつて、お正月は着物を着るにも袖の短いウールのアンサンブル。お祭は違いましたもの。袖の長いヒラヒラした着物、そしてポツクリ。頭には大きなりボンを飾り、おまけに、母がこの日だけ、大人のものだと思つてた紅を、紅筆で真剣にさしてくれましたもの。お祭は、子ども心に一年に一回の晴舞台でした。



豊浜町 ちょうさ祭

毎日がお祭りの中で

充足感を求めて

待ち焦がれた祭りの日は、あたかも蝉が長い地中生活から解放されて生を謳歌して鳴き続けるかのように、人達は狂つたように踊り歌いもろもろの行事に自

高松市歴史民族協会会長
大津 秀雄

あなたにとつて祭とは？

それは、心踊るものでした。だつて、お正月は着物を着るにも袖の短いウールのアンサンブル。お祭は違いましたもの。袖の長いヒラヒラした着物、そしてポツクリ。頭には大きなりボンを飾り、おまけに、母がこの日だけ、大人のものだと思つてた紅を、紅筆で真剣にさしてくれましたもの。お祭は、子ども心に一年に一回の晴舞台でした。

普通寺 高橋弓子

エクスター。その一言につくるわね。踊る人、担ぐ人、誰の目をも気にしない自己陶酔の世界。見てる人にも、そのエネルギーが伝染し、陶酔人々。自己陶酔がやる側、見る側ともに共有できる摩訶不思議な世界。それが祭かな。

国分寺 お祭大好き人間

何でかのオ。まつりの夜店には必ず、近所のフミちゃんと一緒にやつた。一緒に射的をしたら、フミちゃんの方が上手でのオ…。妙にばつが悪うてのオ。

香川町 佐々木

祭にはバラ寿司がつきものでしたね。穴子は必ず入つて。祭の時期になると、寿司に入れる材料の値が高くなると、おふくろがブツブツ言ってたのを思い出します。家庭の食費にまで影響を及ぼす大きな行事だつたんですね。

高松市 藤井

昭和三十年頃の話である。石清尾八幡神社（高松市宮脇町）の例祭は十月半ばかり、この日は学校も昼から休み。お祭りに一緒に行こうと約束した友達が誘いにきたのに、まだ揃えができていない。さつきから飾り帯がうまく結べないと何度も母がやり直すものだから、後ろを見返してイライラする私。おばあさんが横から口を挟むので、なおややこしくなる。やつと飛び出すと「今日ぐらいは大人しくするもん」と、背中に母の声が追いかけてきた。

旅所の広場には見せ物小屋ができる。僅かなお小遣いを胸算用してお店を覗くのだが、買い物はお参りを済ましてるものだと教えられている。ぞろぞろと繰り出した人波について本殿前の石段を上がり、神妙に手を合わせているとお賽銭が頭の上を飛んでくる。振り向くと景気の良さそうなおじさんが、大きく右手を打ってご祈願の真っ最中だった。

境内の石畳を埋め尽くした参拝客に逆らつて、やつと露店の並ぶ通りに出た。屋台の店は呼び込みの声をあげたり、香ばしい食べ物の匂いをさせて誘う。「衛生が悪いから、お腹が痛うなる」と注意されても無理な話。みんなで角に集まつて思案の買い物の披露をしていると、沿道からドンデンデンと勇ましい太鼓の音がしてチヨウサが来た。「きた、きた」と揃つて人込みの最前列にすり込んだ。普段着慣れないものは動きにくいのだが、大切な着物や帯はそろそろ妹行きらしいので、汚したり破いたりはできない。

太鼓叩きの少年たちは向こう鉢巻も勇ましく、黒縫子の掛け襟をつけた女物の襦袢姿でチヨウサに乗り込む。裾の長いのは尻からげして、邪魔な袖は赤いシゴキの襷を背中で結んで腕まくり。白虎隊みたいな出で立ちを大人たちは「お女郎さんみたいで色っぽい」と言う。あんな派手な襦袢は素人の女は着ないものだというが、男のくせに鼻筋を白く塗つたり唇に紅を指した顔の方がよっぽど色っぽい。

ちようさーや、 どんでんでん



昭和30年代の石清尾八幡秋祭り

埃っぽい参道の両脇に露店が並び、お旅所の広場には見せ物小屋ができる。僅かなお小遣いを胸算用してお店を覗くのだが、買い物はお参りを済ましてるものだと教えられている。ぞろぞろと繰り出した人波について本殿前の石段を上がり、神妙に手を合わせているとお賽銭が頭の上を飛んでくる。振り向くと景気の良さそうなおじさんが、大きく右手を打つてご祈願の真っ最中だった。

境内の石畳を埋め尽くした参拝客に逆らつて、やつと露店の並ぶ通りに出た。屋台の店は呼び込みの声をあげたり、香ばしい食べ物の匂いをさせて誘う。「衛生が悪いから、お腹が痛うなる」と注意されても無理な話。みんなで角に集まつて思案の買い物の披露をしていると、沿道からドンデンデンと勇ましい太鼓の音がしてチヨウサが来た。「きた、きた」と揃つて人込みの最前列にすり込んだ。普段着慣れないものは動きにくいのだが、大切な着物や帯はそろそろ妹行きらしいので、汚したり破いたりはできない。

太鼓叩きの少年たちは向こう鉢巻も勇ましく、黒縫子の掛け襟をつけた女物の襦袢姿でチヨウサに乗り込む。裾の長いのは尻からげして、邪魔な袖は赤いシゴキの襷を背中で結んで腕まくり。白虎隊みたいな出で立ちを大人たちは「お女郎さんみたいで色っぽい」と言う。あんな派手な襦袢は素人の女は着ないものだというが、男のくせに鼻筋を白く塗つたり唇に紅を指した顔の方がよっぽど色っぽい。



太鼓台も威勢よく（昭和30年代石清尾八幡秋祭り）

恐ろしくもあり、
うらやましくもあり

チヨウサが羽目を外したように暴れ出

すと、見物客の中に踊り込んでくるみた
いで恐ろしくなる。「なにせ、お神酒が
入つとるから、無茶する者もおつて危な
いもんや」と、おばあさんは私を見透かし
て脅かす。だけど、後ずさりしようにも
後ろから押されて身動きが取れないし、
第一、後ろにいてはこのワクワクした気
分には浸れない。

目の前でいきなりチヨウサが横倒しになつた。落ちない用心に四方柱にくくられた少年たちは、自由を奪われながらも大
きく腕を振つて太鼓を叩き続けている。
チヨウサが平たく戻ると逆さまになつて
いた子の髪がはらりとして、白粉の顔を
ほころばせてにつこりしたのが見えた。
私も乗つてみたいと言つた時「いかん、
いかん。女は乗れん」と得意そうに威張つ

た友達（やつ）である。引いたり押した
り、差し上げたり回したり。どんなに乱
暴な扱ぎ方をしてもドンデンデンは乱れ
ない。勇壮な太鼓の音が悲壯になつて、
こつちもリズムに合わせて昇りつめていく。
お祭りの華が通り過ぎていくと見物客
の群れも崩れて移つて行く。握り締めて
いた綿菓子がすっかり萎んで飴みたいに
固くなつていて。小さくなつたのをガリ
ガリと噛みながら「あいつ、明日、学校
で自慢するやろうなあ」と思った。あつ
けなく終わつた祭りの喧騒の後は、ひん
やりした秋の闇の中。明日からは豊かな
秋の収穫が忙しく始まる。「ちようさー」
や、「ドンデンデン。ドンデンデン、
ドンデンデン」連れにはぐれて一人、足
を踏み鳴らしながら家路についた。

牟礼町 香川

ふるさと研究会会員
妹尾 共子

僕にとって祭の代名詞は、何と言つても、わたがし、たこ焼、リンゴ飴。昔は祭でしか食べられなかつたもんナア。

茶道ガイド

9月

- 7日 裏千家淡交会高松支部 月釜
8:00~ 天神会館
7日 香川官休会 月釜 席主 北原美津子●
9:00~ 本覚寺
12~15日 香川県華道選抜秀作展
9:00~ 香川県文化会館
14日 琴平月釜 席主 武者小路千家 田中美代子
9:00~ 松尾寺●
16日 観月茶会 席主 武者小路千家 三好綾子
岡山市後楽園●
21日 一茶庵久松会 茶会
9:00~ 玉藻公園披雲閣●
27日 仁尾町文化協会 観月茶会●
18:00~ 賀茂神社
28日 茶会石州流香川支所●
9:00~ 玉藻公園披雲閣
△ 煎茶安部流洗心会平成9年度年金茶会
10:00~丸亀市総合会館●

10月

- 1~3日 うたづ秋の文化祭文化展いけばな展
宇多津町保健センター■
5日 石州流茶道片桐宗閑公325年祭記念茶会
9:00~玉藻公園披雲閣●
5日 裏千家淡交会高松支部 月釜●
8:00~ 天神会館
△ 香川官休会 月釜 席主 干原 康●
9:00~ 本覚寺
8~13日 草月流創流70周年記念香川県支部●
コトデンそごう
10~11日 金比羅大祭奉納華展●
10:00~ 琴平町文化会館
12日 岡山黒住教茶会 席主 武者小路千家 三好綾子
岡山黒住教大教殿西室席●
15~20日 岩田硝子「ガラスのうつわ花展」
小原流高松支部●
10:00~ コトデンそごう

10月

- 19日 屋島ライオンズクラブ茶会及び
協賛いけばな展
9:00~ 玉藻公園披雲閣●
26日 国民文化祭賛茶会 煎茶安部流洗心会四国支部
9:30~ 丸亀市総合会館前市民広場●

11月

- 2日 錦桜茶会 9:00~ 与田寺●
△ 裏千家淡交会高松支部 月釜●
8:00~ 天神会館●
△ 香川官休会 月釜 席主 藤井ツタ子●
9:00~ 本覚寺●
9日 豊中町文化祭 席主 武者小路千家 斎藤友子
9:00~ 豊中町役場
7~9日 第14回善通寺市民文化祭「生花展」■
9:00~ 善通寺市総合会館●
9日 第14回善通寺市民文化祭「茶会」■
10:00~ 総合福祉センター●
8~9日 高松市市民文化祭秋趣茶会といけ花高松展
協賛茶会 8日 煎茶安部流洗心会四国支部 9:00~●
9日 裏千家淡交会高松支部 9:00~●
嵯峨流華道香川司所創立70周年記念華展●
2~14日 前期 10:00~ コトデンそごう●
15~17日 後期 10:00~ △●
15~16日 芸林展（作品展及び茶席）
三本松中央公民館●
中旬 香南苑文化祭（花展）
香南町香南苑内●
23日 茶筅供養 武者小路千家徳島支部
徳島巖巖寺●

10月
11月

- 26日 武者小路千家香川官休会
(栗林公園掬月亭)
2日 安部流洗心会四国支部・裏千家淡交会高松支部 (玉藻公園披雲閣)
石州流茶道香川県支部 (栗林公園掬月亭)
3日 表千家同門会香川県支部・茶庵流香川県支部
(玉藻公園披雲閣)

茶華道祭「華道展」 10:00~17:00 ■
前期 10/25~10/27 (坂出市立体育馆)
後期 11/1~11/3 (坂出市立体育馆)

出品流派
いけばな京花傳・茶庵流香川県支部・
一茶庵久松会・一生流(佐藤)・遠州流・
小原流高松支部・御室流・華月流・華道
家元池坊香川県連合支部・華道一正流・
華道一生流(本覚寺)・華道一生本流・
華道遠州香川支部・華道高野山・光月流・
嵯峨御流香川司所・清謫古流香川県支部・
草月流香川県支部・勅使河原和風会香川
支部・未生流香川支部・未生流譜岐支部・
未生流中山文甫会高松支部

生活文化総合フェスティバル
10/26~11/2
10:00~17:00 (サンメッセ香川)
出展団体
[いけばな] 貢日本いけばな芸術協会・(社)日本
華道連盟
[茶道] (社)表千家同門会・(社)茶道裏千家
淡交会
[煎茶道] (社)全日本煎茶道連盟
10/26瑞芽庵流・10/27東阿部流・
10/28光輝流・10/29東阿部流・
10/30松庭流・10/31一茶庵流・
11/1~茶庵流・11/2静風流

イベントガイド

香川県文化会館 ☎(0878) 31-1806

- 9/8 「狂言大蔵流狂言の会」 18:00~●
9/20~10/19 「葛飾北斎名品展」 9:00~●
11/15~12/7 「東山魁夷版画展」 9:00~●

高松市歴史資料館 ☎(0878) 61-4520

- ~9/7 「全国郷土玩具展」●
~樋口準一氏寄贈玩具を中心として~
9:00~ 特別展示室
9/2 歴史資料館講座「死をめぐる文化」■
(南アジア・インド編)
10:00~ 第1集会室
9/5 歴史資料館講座「死をめぐる文化」■
(東アジア・日本編)
13:30~ 第1集会室
10/19~11/16 開館5周年記念特別展
「水戸徳川家の名宝展」
9:00~ 特別展示室
11/9 「水戸徳川家の名宝展」記念講演会■
13:30~視聴覚ホール

高松市図書館 ☎(0878) 61-4501

- 9/6・10/4・11/1 なかよしかみしばい■
14:00~ 1Fおはなしのへや
9/10・10/8・11/12 にこにこおはなしひろば■
15:00~ 1Fおはなしのへや
9/27 郷土文化サロン「まつりの食習俗」■
14:00~ 3F第1集会室
9/27・10/25・11/22 伝々虫のおはなし会■
14:00~ 1Fおはなしのへや

10/11・11/8 おはなしのかけはし
14:00~ 1Fおはなしのへや

高松市立市民会館 ☎(0878) 39-2888

- 9/6 穴吹フィットネスクラブ●
第13回ダンスフェスティバル 18:30~
10/4 教育文化祭・音楽会(中学校)
10/9 △ (小学校)
11/8 第43回香川県幼児音楽会
11/20~21 影絵人形劇「角笛シリエット劇場」●
20日 10:30~ 21日 10:00~
11/30 菊池寛ドラマ賞受賞作品「八木峰」公演
13:00~●

高松市美術館 ☎(0878) 23-1711

- ~9/7 光と闇「華麗なるバロック絵画展」
2F展示室
9/19~10/19 マリリン・モンローとエルヴィス・プレスリー展
2F展示室

- 9/25 ユージアム・ライブ瀬木貴将アコースティック・グループ●
18:30~ エントランスホール

- 11/8 ミュージアム・ライブ
伊藤キム十輝く未来 ダンス公演
19:00~ エントランスホール

- 11/14~12/14 速水史朗展「おおらかな大地のかたち」
2F展示室●

玉藻公園管理事務所 ☎(0878) 51-1521

- 9/6 高松市市民文化祭文芸大会(川柳大会)●
10:00~ 披雲閣

10/23 きもの振興まつり (茶会)

10:00~ 披雲閣

11/23 高松市市民文化祭囲碁将棋まつり●

9:00~ 披雲閣

高松市文化協会 ☎(0878) 34-6700

- 第24回高松市市民文化祭 —
(高松市民会館大ホール催物のみ記載)
10/5 市民芸能まつり★
13:00~ 市民会館大ホール
10/12 音楽まつり■
13:00~ 市民会館大ホール
10/18 今と未来の夢さがし'97生活文化ショー●
13:30~ 市民会館大ホール
11/9 民踊まつり●
13:00~ 市民会館大ホール
11/23 洋舞公演(バレエ・コンサート)●
14:00~ 市民会館大ホール

オーリーフホール ☎(0878) 61-0467

- 9/7 オーリーフ杯中学英語スピーチコンテスト
10/7 高松市中学校英語弁論大会
10/18 「マッドカブセルマーケット」ライブ
セントラルホールウイング ☎(0878) 33-0005
9/3~7 「いのちの絵画展」出品者14名の死刑囚■
10:00~ セントラルギャラリー●
9/20 「Mabellini アンサンブル」●
18:30~ セントラルホールウイング

イベントガイド

- セントラルホールウイング ☎(0878) 33-0005**
- 9/23 「全国高校生の主張香川県大会」
13:00～ セントラルホールウイング
 - 9/26~27 「陶芸愛好家による作品展」
10:00～ セントラルギャラリー
 - 10/6~12 「陶芸展」 9:00～
- 高松テルサ ☎(0878) 44-3511**
- 9/7 第5回香川チター音楽祭 14:00～
 - 9/16 ウィンターピアノコンサート 18:30～
 - 9/18 田中周子 講演会 10:00～
 - 9/23・28・10/4・5・10 第14回香川ジュニア音楽コンクール 10:00～
 - 9/27 ソプラノリサイタル 18:30～
- 菊池寛記念館 ☎(0878) 61-4502**
- 9/6 文芸講座テーマ「中河與一の愛と文学」
 - 10/4 テーマ「日本の芸能こども花のかたち」
 - 11/15 テーマ「物語にみる家族もよう」
(すべて13:30～ 3F第1集会室)
- ヨンデンスラザ高松 ☎(0878) 51-3863**
- 9/21 ヨガ教室の講座 講師 倉本英雄
10:10～ 3F コミュニティホール
 - 10/7 チャリティバザー（日曜雑貨）
10:10～1F コミュニティ広場
- 高松市市民文化センター ☎(0878) 33-7722**
- 9/6~7 プラネタリウム
「星が占うあなたの運勢～13星座占いの謎」
13:30～ 15:15～ 5F プラネタリウム室
 - 9/20~27 星と音楽のタペ（毎月第3・4土曜）
16:10～ 5F プラネタリウム室
 - 9/13~10/18~11/22 親子で見る会
18:30～ 5F プラネタリウム室・屋上
 - 毎週土・日 親子映画会 14:15～ 5F 視聴覚鑑賞室
- 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877) 24-7755**
- 9/6~10/19 「ロバート・メイプルソープ展」
10:00～ 展示室
 - 9/25 「古澤巖とフィリップ・ブッシュソナタの夜」
ヴァイオリンとピアノによるコンサート
18:30～ 展示室
 - 10/25~11/3 「丸亀藩京極家名宝 野々村仁清 展」
9:00～ 展示室
 - 11/1 バルロ・ヴァイトリーピアノコンサート
18:30～ ミュージアムホーム
 - 11/8~12/14 「いす・100のかたち」
ヴィトラン・デザイン・ミュージアムの名品
10:00～ 展示室
- 丸亀市教育委員会 ☎(0877) 24-8826**
- 11/15~24 第44回丸亀市芸術祭展示
丸亀市資料館・総合会館(11/15・16のみ)
- 丸亀市民会館 ☎(0877) 23-4141**
- 9/19 老人演芸大会 12:00～
 - 10/3 丸亀市民会館自主文化事業
「能鑑賞教室」 17:30～
 - 10/12 丸亀市民会館自主文化事業
「イ・ムジチ合奏団」 15:00～
 - 11/3 丸亀市役所吹奏楽団第17回定期演奏会
「ふれあいコンサート'97」 14:00～
 - 11/13 小田和正制作映画 13:00～
- 丸亀市文化協会 ☎(0877) 24-8826**
- 9/6 第6回名作映画まつり
10:00～ 丸亀市総合会館
 - 11/15~16 第27回丸亀市民芸能大会
9:00～ 丸亀総合会館
- 丸亀市立資料館 ☎(0877) 22-5366**
- 9/16 講演「三代の丸亀城」
13:30～ 丸亀市総合会館
 - 10/3~11/3 展示「大名の能装束と能面展」
9:30～ 1F 展示室
 - 10/10~10/19 展示「蓬の会 日本画展」
9:30～ 2F 展示室
- 10/25~11/9 展示「カミキリムシ展」(仮称)
9:30～ 展示室**
- 11/15~11/24 展示「丸亀市芸術祭主催展」
9:30～ 1~2F 展示室**
- 坂出市民ホール ☎(0877) 45-1505**
- 9/15 坂出市民老人芸能祭
 - 10/11 市民芸術祭（邦樂三曲） 13:00～
 - 10/12~18 市民芸術祭（民謡・民謡）
12日 12:00～ 18日 13:00～
 - 11/16 第4回踊りの発表会 松美会
 - 11/22 ZELOコンサート 声楽発表会
- 坂出市中央公民館 ☎(0877) 46-2422**
- 10/5 市民芸術祭（公民館日舞）
12:00～ 坂出市民ホール
 - 10/19 市民芸術祭（ジュニアコンサート市民音楽祭）
13:00～ 坂出市民ホール
 - 11/3 市民芸術祭（吟釈詩舞）
12:30～ 坂出市民ホール
 - 11/23~24 市民芸術祭（歌謡）
9:00～ 坂出市民ホール
- 観音寺市教育委員会 ☎(0875) 23-3943**
- 9/15 かんおんじ生涯学習推進大会 12:30～16:00
13:00～ 生涯学習実践発表
 - 14:30～ 記念講演 講師 小松左京
- 善通寺市教育委員会 ☎(0877) 63-6328**
- 第14回善通寺市民文化祭（10/28～11/23）
 - 10/28~11/4 美術展 9:00～ 善通寺東公民館
 - 11/7~11/9 作品展 他 9:00～ 善通寺市民会館
 - 11/3 民謡（踊）大会 13:00～
囲碁大会 10:00～
獅子舞大会 11:00～ 善通寺伽藍
郷土芸能大会 11:20～
- 牟礼町文化協会 ☎(0878) 45-4111**
- 11/1 文化協会展（作品展示） 9:00～
牟礼町公民館・牟礼町老人福祉センター
 - 11/2 文化協会展（作品展示・協会作品即売会）
9:00～牟礼町公民館・牟礼町老人福祉センター
文化協会行事 舞台部門・特別行事
「わいわい楽会」 9:30～ 牟礼公民館大ホール
- 三木町教育委員会 ☎(0878) 98-1111**
- 11/29~30 三木町文化祭
9:00～ 三木町文化交流プラザ
- 志度音楽ホール ☎(0878) 94-1000**
- 9/23 志度東中学校吹奏楽部第10回定期演奏会 15:30～
 - 10/26 志度音楽ホール開館10周年記念事業
ジャン＝ピ埃尔・ランバール フルートリサイタル
14:00～
 - 11/9 オータムコンサート 14:00～
 - 11/19 志度東中学校校内合唱コンクール 9:30～
- 白鳥町教育委員会 ☎(0879) 26-1121**
- 9/14 野外コンサート（アマチュアバンド等）
15:00～ 白鳥中央公園野外ステージ
 - 11/22 第7回白鳥町コンサート 徳島文理オーケストラ
14:00～ 白鳥中央公園体育館
 - 11/下旬 生涯学習作品展 白鳥町総合会館
- 大内人形劇場 とらまるの座 ☎(0879) 25-0400**
- (2回公演 10:30～・13:30～)
 - 9/25~27 人形劇場かくれんぼ（京都）
 - 10/2~4 バベツソムマイムシアターうざぎ小屋（兵庫）
 - 10/9~11 人形劇団 くれよん座（東京）
 - 11/6~8 人形劇団 六（大阪）
 - 11/22~23 糸あやつり人形劇団のみむし（兵庫）
- 長尾町教育委員会 ☎(0879) 52-2511**
- 11/9 第12回かぐや姫カーニバル
町役場特設会場・商店街
 - 11/8~9 長尾町文化祭 9:00～ 長尾小体育馆
- 綾上町教育委員会 ☎(0878) 78-2305**
- 11/3 綾上町文化祭
8:30～ 綾上町農村環境改善センター
- 11/23 西分ふれあい祭り 10:00～ 綾上町西分小体育馆
羽床上公民館まつり 11:00～ 綾上町羽床上公民館
粉所ふるさと祭 10:00～ 綾上町粉所小体育馆**
- 飯山町教育委員会 ☎(0877) 98-7961**
- 9/8~20 書道展（富工見書道教室）
8:30～ 飯山町役場別館5F
 - 10/20~26 陶芸展（陶友会）
8:30～ 飯山町役場別館5F
 - 11/10~23 書道展（竹乃子教室）
8:30～ 飯山町役場別館5F
 - 11/1~3 生涯学習フェスティバル 作品展・講演会他
1日13:00～ 3日14:00まで 飯山総合運動公園
- 宇多津町教育委員会 ☎(0877) 49-8007**
- 11/3 うたづ秋の文化祭 芸能祭
10:00～宇多津町保健センター
- 町立塩江美術館 ☎(0878) 93-1800**
- ~9/15 百年先を見た男 小西和展 9:00～
 - 9/17~10/5 森田政雄（暁峰）拓本展 9:00～
 - 10/7~10/19 思可牟展 9:00～
 - 11/16~11/30 塩江町文化協会作品展 9:00～
- 香川町教育委員会 ☎(0878) 79-0231**
- 9/7 ひょうげ祭り
14:00～ 县道岩崎高松線沿（浅野坂下～新池）
 - 11/14~16 ふるさと香川フェスティバル'97
9:00～（14日は前夜祭）香川町総合体育馆
- 直島町文化協会 ☎(0878) 95-2882**
- 11/2~3 直島町教育文化祭（作品展示その他催し物）
9:00～ 西部公民館
- 琴平町教育委員会 ☎(0877) 75-6716**
- 9/上旬 映画名作劇場 琴平文化会館
 - 11/上旬 町民文化祭 琴平町内
- 多度津町民会館 ☎(0877) 33-3330**
- 9/28 夢・歌・舞（唄・踊りの夕べ） 18:00～
 - 11/3 第11回現代イラスト表彰式典 10:00～
 - 11/9 第7回アマチュアカラオケ選手権大会 9:30～
 - 11/23 POWER STATION'97コンサート 18:30～
 - 11/30 真子ピアノ教室発表会 15:00～
- 多度津町中央公民館 ☎(0877) 33-0760**
- 9/6 第10回秋季講演会 13:00～ 町民会館
 - 9/16 第32回観月会 短歌・川柳・俳句
18:00～ 町総合福祉センター
 - 11/2~3 第40回町芸術展（約20部門）
9:00～ 町総合福祉センター他
- 豊浜町中央公民館 ☎(0875) 52-3111**
- 9/13~15 第15回鑑定会 豊浜美術展 9:00～ 豊浜文化会館
 - 9/20 芹洋子ファミリーコンサート
19:00～ 豊浜文化会館
 - 11/1~3 第41回とよま文化祭
9:00～ 豊浜町文化会館・福祉会館
- 財田町教育委員会 ☎(0875) 67-3111**
- 10/25 カラオケ発表会 財田町中央公民館
 - 11/2~3 第26回かくらだ文化祭
8:30～ 財田町中央公民館
 - 11/3 第7回財田町生涯学習振興大会
13:00～ 財田町中央公民館
 - 11/23 第3回芸能祭 13:00～ 財田町中央公民館
- 大野原町中央公民館 ☎(0875) 54-5711**
- 11/2 「文化展」 9:00～ 町スポーツセンター
 - 11/3 絵画・工芸・陶芸・写真・書道
9:00～ 町中央集会場
 - 11/4 生花・手芸・盆栽・小中学校作品・民具民芸
9:00～ 町中央集会場
- 仁尾町文化協会 ☎(0875) 82-2143**
- 10/18 仁尾町民演芸の夕べ
19:00～ 仁尾勤労者体育センター
 - 11/1~2 仁尾町文化祭 9:00～ 仁尾勤労者体育センター
 - 11/1 文化講演会 13:00～ 仁尾町福祉会館

●は有料、■は無料、★は整理券が必要です。（記号表示は判明したもののみ）



鈴木 健二



加賀まりこ

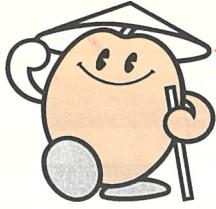


さだまさし



第12回 国民文化祭・かがわ'97

平成9年10月25日(土)~11月3日(日)



交流と創造 光と海と祈り

私たちも参加します!

入場整理券・申し込み受付中

イベントはすべて無料ですが、入場整理券の必要なイベントが多数あります。定員がありますので、県庁や市町役場、文化施設等に置いてありますガイドブックをご覧いただきお早めにお申し込みください。

詳しいお問い合わせは

第12回国民文化祭香川県実行委員会事務局

〒760 香川県高松市番町2丁目1番1号(NTT番町ビル) TEL.0878-31-1111(代) FAX.0878-26-3203

ホームページ <http://servlca.Kagawa.netor.lp/bunkesel/>

「第12回国民文化祭・かがわ'97」の情報は、ハローダイヤル0878-37-8600でご案内しています。



曾野 綾子



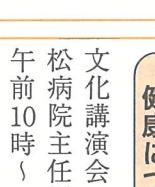
三枝 成彰



山本 邦山



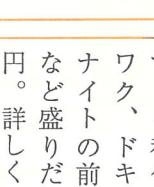
藤本 義一



市原 悅子



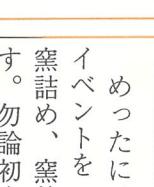
大林 宣彦



中村橋之助



小松 左京



山本 直純



猪俣 猛



この秋、土と向き合つてみませんか

皆様の声を募集しています。
文化に関するもの。こんなこと
やっています。こんなことやりま
した。考えましたなど、お手紙
かFAXで。

従来の情報紙から、一新
しタイトルも「ぶんか通心」
と変え、新たなスタートを
きりました。

模索しながらのスタート
です。タイトルのように、
心通う情報紙でありたいと
希望だけは高く揚げてみた
ものの……。

めったにチャンスのない備前焼、登り窯の
イベントと一緒に体験してみませんか。制作、
イベントを一緒に体験してみませんか。制作、
窯詰め、窯焚き、窯出し、すべて経験できま
す。勿論初心者の方は指導いたします。制作
は9月~10月第一週までの毎土・日に行いま
す。ご都合の良い日をお選びください。ワク
ワク、ドキドキの窯出しは11月16日。オール
ナイトの前夜祭、当日の即売コーナー、屋台
など盛りだくさんの企画です。参加費は一万
円。詳しくは(0878)51-2211 小川陶
芸教室までお問い合わせください。

健康について一緒に考えましょう

文化講演会「いきいき健康法」▼講師NTT高
松病院主任婦長山本文子▼とき10月19日(日)
午前10時~12時▼ところヨンデンプラザ高松
3F▼申込み往復ハガキで。定員50人(抽選)
10月7日〆切。▼お問合わせ(0878)
51-3863(ヨンデンプラザ高松)

語りのすばらしさを、体感してください
そして、そのすばらしさを身近な子供たち
に届けていただければと思います。
語りに学ぶ連続講座を行っています。

98
5
6
3
4
さぬき昔話の会「伝々虫」まで。
▼▼▼
10
14
(火)
13
15
講師増山正子(於女性センター)
講師佐藤涼子(於高松市図書館)
講師小沢俊夫(於県立図書館)
参加費は無料です。詳しくは(0878)

編集後記

いな、「ぶんか通心」を媒体
に、いろんなネットワーク
が生まれたらいいな、など
など。悪戦苦闘の編集を
重ねながらも、夢は広がり
ます。

今回の発行に際しまして、
ご協力いただきました皆様、
ありがとうございました。

【声の届け先】
760 高松市番町二丁目一~十二
(財) 中條文化振興財団編集部
TEL (0878) 26-3355
FAX (0878) 26-2212